

ちょっと  
拝見

# となりの DAMカート

50a 新ゴB  
色ベタ+スミ40%

名古屋市立大学病院の巻

30a 新ゴM  
38a 新ゴM



0.3a 新ゴB  
色ベタ+スミ40%  
31%  
150%  
x3/24  
Y200%  
スミ  
80%

0.5a 新ゴB  
色ベタ+スミ40%  
128%  
80%  
x66%  
Y68%  
スミ  
80%

白  
スミ  
80%

色ベタ+スミ40% 基本情報 15a ロダンB 20H

手術室 15 室に対して DAM カート 1 台  
W 43 cm × D 43 cm × H 90 cm

手術室エリアの麻酔科監視室前に配置。DAM カートの内容はいたってシンプルである。  
その理由として、全手術室に McGRATH™ MAC や AceScope™ などのビデオ喉頭鏡と、  
i-gel® (#3/4) を常備していることが挙げられる。  
気管支ファイバー (Ambu® aScope™) は DAM カートのすぐ近くに、  
ウルトラスリム、スリム、レギュラー、ラージの各サイズを揃えてあり、ともに出動する。  
そのほか、エアウェイスコップ® や C-MAC® も麻酔科監視室の近辺に設置しており、  
すぐに持参できるようになっている。

情報提供 名古屋市立大学病院 柴野 雅資 先生 徐 民恵 先生

指定外は、1/a 新ゴB

1234 ● LISA VOL.11 NO.1 2004-1

色ベタ+スミ40%  
スミ・白スミ  
6%  
142%  
Y255%  
スミ  
80%



※ 指定外の文は、2025年8月号と同じ表体数  
※ ーの色の指定は、ーのと同じ

A = 色10% + スミ5%  
B = スミ20%

ちょっと拝見 ◆ との DAM カート

**後面**

- チューブエクステンジャー (8/11/14/19 Fr)
- ガムエラストリックブジー (14 Fr) ↔ 77<sup>mm</sup>

**上面** ↔ 34<sup>mm</sup>

- 抜去用スタイレット (大 / 中 / 小)

8月号・読甲 (以下同)

×18<sup>mm</sup> Y18<sup>mm</sup>  
114<sup>mm</sup> ↑ 58<sup>mm</sup>

×89<sup>mm</sup> Y37<sup>mm</sup>  
95<sup>mm</sup> ↑ 66<sup>mm</sup>

×165<sup>mm</sup> Y90<sup>mm</sup>  
100<sup>mm</sup> ↑ 35<sup>mm</sup>

×33<sup>mm</sup> Y137<sup>mm</sup>  
76<sup>mm</sup> ↑ 76<sup>mm</sup>

**引き出し 1 段目 (緑)** ↔ 76<sup>mm</sup>

- ダブルシーベル回転コネクタ
- マウスピース
- サヌキエアウェイ
- 経鼻エアウェイ (6.0/7.0/8.0)

**引き出し 2 段目 (黄色)** ↔ 55<sup>mm</sup>

- i-gel (#3/4)
- 気管チューブ (内径 5.5 mm)
- スタイレット (10 Fr)

×114<sup>mm</sup> Y196<sup>mm</sup>  
66<sup>mm</sup> ↑ 76<sup>mm</sup>

×20<sup>mm</sup> Y18<sup>mm</sup>  
66<sup>mm</sup> ↑ 84<sup>mm</sup>

×6<sup>mm</sup> Y90<sup>mm</sup>  
100<sup>mm</sup> ↑ 25<sup>mm</sup>

×44<sup>mm</sup> Y120<sup>mm</sup>  
64<sup>mm</sup> ↑ 75<sup>mm</sup>

×127.5<sup>mm</sup> Y54<sup>mm</sup>  
0.2<sup>mm</sup> ↑ 41<sup>mm</sup>  
C75  
M150  
208<sup>mm</sup> ↑ 64.5<sup>mm</sup>  
13a ログシム  
22<sup>mm</sup> H  
18w 誌

ちょっと拝見 ◆ との DAM カート

**引き出し 3 段目 (赤)**

- マイクロカフ付き気管チューブ (内径 3/3.5/4 mm)
- スタイレット (6 Fr)
- トラファイン®
- スリッジョイント (トラファイン接続用)
- オラネジ消毒薬
- ガーゼ

×20<sup>mm</sup> Y18<sup>mm</sup>  
66<sup>mm</sup> ↑ 84<sup>mm</sup>

×6<sup>mm</sup> Y90<sup>mm</sup>  
100<sup>mm</sup> ↑ 25<sup>mm</sup>

×44<sup>mm</sup> Y120<sup>mm</sup>  
64<sup>mm</sup> ↑ 75<sup>mm</sup>

×127.5<sup>mm</sup> Y54<sup>mm</sup>  
0.2<sup>mm</sup> ↑ 41<sup>mm</sup>  
C75  
M150  
208<sup>mm</sup> ↑ 64.5<sup>mm</sup>  
13a ログシム  
22<sup>mm</sup> H  
18w 誌

**引き出し 4 段目**

- サフィード® 連結チューブ
- グリーンチューブ
- ファインアトマイザー
- ネプライザーキット
- アンビューバッグ

↔ 75<sup>mm</sup>

×44<sup>mm</sup> Y120<sup>mm</sup>  
64<sup>mm</sup> ↑ 75<sup>mm</sup>

×127.5<sup>mm</sup> Y54<sup>mm</sup>  
0.2<sup>mm</sup> ↑ 41<sup>mm</sup>  
C75  
M150  
208<sup>mm</sup> ↑ 64.5<sup>mm</sup>  
13a ログシム  
22<sup>mm</sup> H  
18w 誌

**コメント**

当院では、換気・挿管困難が予想される患者や、意識下挿管を行う患者では、麻酔導入前から手術室内にDAMカートをスタンバイしている。高度肥満患者や耳鼻咽喉科の気道狭窄が疑われる患者、頭頸部術後や先天性顔面奇形の患者など、DAMカートがスタンバイされるケースは比較的多いが、各手術室にビデオ喉頭鏡や声門上器具を常備していることや気管支ファイバーも複数台用意していることから、実際に緊急で使用されることは少ない。また麻酔科監視室の前に麻酔後ケアユニット (PACU) があるため、PACUで気道緊急が生じた場合にもすぐに対応が可能である。

当院では小児の症例も多く、小児用の挿管ボックスを別に設置している。小児の気道確保困難症例では、小児用挿管ボックスに加えDAMカートをスタンバイする。このようにして、緊急でDAMカートを運ぶ場面を最小限にしている。

一方で、これまでDAMカート内の物品を使用したタイミングで、手術室看護師が内容の確認と補充を行ってきたが、定期的な点検が不十分となったため、期限切れの物品やほとんど使用される可能性のない部品が保管されていることが判明した。また引き出しを開けたとき、物品の視認性がよくないことも認識したため、整備を行った。本稿の執筆を機に、手術室の実情に合わせた物品の調整・配置と点検を定期的に行っていく予定である。